

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	UICC-TNM 第 8 版に基づく IA 期肺腺癌において脈管侵襲が予後に与える影響
	研究目的	UICC-TNM 第 8 版において脈管侵襲は病期を決める因子とはなっていない。以前当院では第 7 版における脈管侵襲の予後への影響について報告しているが、第 8 版における影響については不明である。また病理学的な T 因子として腫瘍径ではなく浸潤径を用いることになったが、浸潤範囲の測定は時に困難である。本研究の目的は、2000-2005 年に完全切除を施行した第 7 版に基づく病理病期 IA 期の肺腺癌 314 例を対象とし、第 8 版に基づいた IA 期肺腺癌における脈管侵襲の予後への影響および浸潤径の測定方法について検討することである。
	研究期間	西暦 2018 年 6 月 22 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	鮫島 譲司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし